



子どもの「今」を大切に

先月の職員会議で子どもの「今」を大切にしたいねという話を職員間でしました。ある子どものエピソードではリズム運動の時間になり部屋を移動するところでしたが、その子がかぶとむしの幼虫が見たいと訴えました。保育士はリズムの時間であるし、一度は「リズムの後ろに見るのはどう？」と提案しました。でもその子の答えは「今見たい」でした。そこで保育士はその子の「今」を受け止めることにしました。結果、その「今」に付き合った時間は5分程。その5分の満足によってその子は気持ちよく次の活動に参加がすることができました。このエピソードから子どもの「今」を受け止めることの大切さを改めて確認しました。

日々多忙な中で、「～しなければ」「～させたい」と大人の願いや都合で子どもを動かしてしまいがちになります。大人に余裕がないと尚更です。この保育士のエピソードから私たちは日々の活動が大人の都合で動いていないが、子どもの「今」を大切にしているだろうかと振り返る時間となり、職員間でそんな時間がもてたことがなによりよかったと思っています。子どもの「今」に向き合うことで、気持ちが満たされ、様々な活動がやられるものではなく、自ら楽しむ時間へと変わり、子どもの“やりたい”や“好き”の思いがうまれていきます。そんな時間を積み重ねていきたいです。

「好き」で心が動くとき

9月のちいなか特集のテーマが“「好き」で心が動くとき”でした。ちいなかとは保育者と父母を結ぶ雑誌『ちいさいなかま』のことです。文庫で貸し出しもしているのでぜひ手にとって読んでみてください。

職員は毎月ちいなかをもとにちょっとした“ちいなか学習会”を実施しています。毎月変わるテーマの中で思ったことや感想を伝えあうことで色々な考え方を知ったり、クラスの子どもたちの情報共有の場となっています。今回のテーマからは改めてどんぐりで大切にしていることを考える機会となりました。

どんぐり保育園では入園してからまず、自分の好きを見つけることを大切にしています。好きなもの、好きな大人が見つかることでぐっと子どもは安心でき、そこから子どもの世界はどんどん広がっていきます。また子どもの“好き”はそれぞれ違いますが、大人が決めることでもありません。どんぐりの生活では大人の価値観で物事を見たり、伝えたりしてしまえないよう、子どもが自分で選びとることを大切にしています。そのなかで、自分の“好き”が見つかり広がっていくと考えています。そして、子どもが思ういろいろな“好き”を大切に、いろいろな好きが大事にされる社会であってほしいと切に願っています。

みなさんも子どもの「好き」や「今」を一緒に見つけてみませんか。

カメラ・ビデオ撮影、BGM がない運動会

17日(土)は運動会です。毎年、お伝えしていますが、保護者によるカメラ・ビデオ撮影はご遠慮いただいています。またBGMがないのも運動会の特徴です。保護者の方々には子どもたちをレンズ越しではなく、生の目で見てもらうことを大事にしています。そのなかで我が子だけでなく、仲間とのつながり、保育者とのやりとりなど、全体の雰囲気を感じてほしいからです。そして、音がないからこそ感じられるのが、子どもの息づかいやつぶやき、会場の声援、またカメラから開放され両手が空くことで生まれる盛大な拍手です。運動会は子どもだけでなく、会場にいる全員で作っていく行事だと考えています。どうぞ、当日は子どもたちの真剣な表情や仲間とのつながりを感じてください。そして2部の保護者競技では保護者の方々も全力で楽しんでいただきながら、子どもたちにとって楽しかったと思う運動会にしていきたいと思います。実行委員のみなさま、準備や企画等をしていただきありがとうございます。当日もよろしくお願いいたします。